

東中だより



No. 9

文責：高橋 泰

剣道男子西三出場 団体は3位が6種目 ～西三予選会～

7月8日(土)から始まった西三大会碧南・高浜地区予選会、多くのドラマを残しながら東中生はがんばりました。今年は団体種目での優勝がなく、3位が6種目ありました。この中には、実力以上の力を発揮してとった3位もあれば、勝ちきれずに3位に終わってしまったものもありました。その中で、剣道男子が西三大会に出場しました。また、個人では、剣道男子の鈴木大生(2-3)君が優勝し、卓球女子の秋月美佑(3-1)さんが10位入賞し、西三大会出場を決めました。水泳では、中川結衣(3-5)さんが200m個人メドレーと50m自由形で県大会標準記録を突破しました。

夏の各種大会をあらためてふり返ってみると、今年特に際立っていたのは、年々盛大になる各会場で見られる応援です。どの会場に行っても他校を圧倒する大声援で、東中学校の応援歌が際立っていました。その歌声は、部活動結束集会や終業式で轟かせた応援歌、校歌そのものでした。

西三河中学校選手権大会碧南・高浜地区予選会 の結果

<野球> トーナメント戦

一回戦 ●0-5 対高南中

<サッカー> 3位

予選○4-0 対高浜中 ○4-1 対新川中

○7-0 対高南中

準決勝 ●1-1(PK2-4)

<ソフトボール> 3位 リーグ戦 1勝2敗

●0-21 対碧南中 ●0-8 対高浜中

○9-2 対高南中

<バスケットボール男子> 3位

予選●28-48 対西端中 ○44-42 対高浜中

準決勝 ●36-54 対高南中

<バスケットボール女子> 3位

予選●31-54 対碧南中 ○52-46 対高南中

準決勝 ●39-47 対高浜中

<ソフトテニス男子> 予選リーグ敗退

予選R ●1-2 対高南中 ●0-2 対中央中

●1-2 対高浜中

個人戦 ベスト16 荒川・近藤ペア

<ソフトテニス女子> 予選リーグ敗退

予選R ●0-2 対中央中 ●1-2 対高南中

個人戦 ベスト16 後藤・大江ペア

<バレーボール> 3位

予選R ○2-0 対西端中 ●1-2 対高浜南中

○2-0 対碧南南中

準決勝 ●0-2 対新川中

三 決 ○2-0 対高浜中

<水 泳>

○100m バタフライ 1位 伊藤百花 1'31"70

○200m 個人メドレー 1位 中川結衣 2'28"43

○200m 自由形 1位 久田透瑚 3'17"91

○100m バタフライ 渡辺俊也 1'10"00

★県標準記録突破、県大会出場者

中川結衣 200m個人メドレー、50m自由形

<陸上>

○800m 1位 安藤小万智 2'41"23

○100mH 1位 池口亜優 18"41

<卓球男子> 団体 6敗

●1-3 対新川中 ●2-3 対西端中

●1-3 対碧南中 ●0-3 対高浜中

●0-3 対高南中 ●2-3 対中央中

<卓球女子> 団体 2勝4敗

●0-3 対新川中 ●1-3 対碧南中

●1-3 対高南中 ○3-0 対中央中

●0-3 対高浜中 ○3-0 対西端中

個人西三大会出場者

秋月美佑 個人10位

<剣道男子> 団体3位 4勝2敗 西三大会出場

●2-3 対西端中 ○3-1 対碧南中

●1-3 対高南中 ○2-1 対新川中

○3-0 対中央中 ○3-2 対高浜中

個人戦 優勝 鈴木大生

<剣道女子> 団体 4位 3勝2敗1分け

△1-1 対高南中 ●0-1 対中央中

○3-1 対西端中 ○4-1 対新川中

●2-3 対高浜中 ○1-1 対碧南中

西三河中学校選手権 本大会 の結果

＜剣道男子＞ 予選敗退

団体 予選R △2-2 対雁が音中
 ●0-3 対幸田中
 ●1-3 対豊南中
 個人 鈴木大生 10位 県大会出場
 1回戦○ 2回戦● 順位戦○

＜卓球女子＞ 個人戦

1回戦敗退…秋月美佑

＜陸上＞

○100m 石川 舜介 13秒04

＜水泳＞

200m個人メドレー優勝 中川結衣 2分24秒18
 50m自由形 優勝 中川結衣 28秒04
 100mバタフライ 11位 渡邊俊也 1分06秒34
 100m背泳ぎ 26位 渡邊俊也 1分10秒12

＜吹奏楽＞

中部日本吹奏楽コンクール西三河南大会 金賞
 愛知県吹奏楽コンクール西三南地区大会 金賞

中川結衣さん、2年連続で東海大会出場!! 鈴木大生君、県大会出場!!

7月28日(金)に水泳の県大会、29日(土)に剣道の県大会が行われました。そこで、中川結衣(3-5)さんが200m個人メドレーと50m自由形でともに4位入賞を果たし、東海大会出場を決めました。1種目しかエントリーできないため、200m個人メドレーに出場することにしました。また、剣道では、鈴木大生(2-3)君が県大会出場を決めました。剣道での県大会出場はおそらく本校開校以来初の快挙です。

愛知県大会の結果

＜水泳＞ ○200m個人メドレー 4位 中川結衣 2分29秒00 東海大会出場
 ○50m自由形 4位 中川結衣 28秒37
 ＜剣道男子＞ 個人戦 鈴木大生 1回戦敗退

＝ 終業式での発表から

一学期のふり返りと今後の決意 田中 奨大(3-4)

「1、2年生は3年生で花を咲かせるための準備」これは、僕が大切にしている言葉です。3年生という学年は、どんなことにも「最後の」という言葉がつかます。だからこそ、どんな行事でも花を咲かせられるように、一生懸命やりたいと感じています。一学期、修学旅行は絶対に成功させたいという思いをもって、僕は運営委員長という役割に立候補しました。

修学旅行で、「木曜から夜更かし」という題名で、学年レクを行いました。最初の実行委員会で、奥谷先生から、「一からではなくて、ゼロから自分たちで作るんだ」と言われました。僕はこれまでの大きな行事を、自分たちで創ってきたという自信があったので、なんとかなるだろう、と安易に思っていました。しかし、実際に話し合いが始まると、どう並ぶとスムーズに進行できるのか、タイムスケジュールの問題、最適な言葉がけ、そして、「学年全体が熱くなり、楽しめるレク」とはどう

いうものか、色々なことを考えました。とても苦しくて、最後の最後まで実行委員みんなで考え抜いて、本番を迎えた日、学年全体で盛り上がることができました。これは、自分たちの力と、僕たち実行委員の企画を心から楽しんでくれた、学年のみんなの温かさが生んだ時間だったと思います。

二学期には、最後の体育大会を、団長という立場で迎えます。目標に向かって全員で燃える、全員で楽しむ、そのためには、誰よりも声を出し、誰よりも全員のことを考えられる団長として、団を引っ張っていきます。

東中生としての最後をどう過ごすか、答えは「悔いを残さないために、本気で燃えること」だと思います。そのためには、日々の生活を積み重ね、行事という特別な場面で、力を発揮できるように過ごしていくことが必要だと思います。僕にとって、三年生にとって、そして、東中生にとって、特別な二学期になるように、頑張ります。